

4 こどもの事故

●こどもの事故について

現在の日本において不慮の事故死によるこどもの死亡者数は減少傾向にあるものの、病気を含むすべての死因の中で上位にあり、直近5か年における、こどもの不慮の事故は、「窒息」「交通事故」「不慮の溺水(おぼれ)」が死因の上位にあります。

こどもの不慮の事故死のうちで「不慮の窒息」は0歳で圧倒的に多く発生し、また「交通事故」は1歳以上のすべての年代で1位となっています。また、こどもの「不慮の溺水(おぼれ)」は、浴槽での溺水(おぼれ)が最も多く、次いで海・川等自然水域での溺水(おぼれ)が多く発生しています。

『後悔、先に立たず』のことわざとおり、起こってからでは遅いのです。こどもは、自分から、身を守る方法を見つけることが出来ません。親が代わりに、見つけるのは当然であり、義務と考えましょう。下記のサイトを参考に家庭内にこどもの事故を防ぐ工夫を取り入れましょう。

一方で、こどもの安全を守ることは保護者だけの問題ではなく、社会全体の責務です。社会全体のシステムづくりに加え、ひとりひとりがこどもの安全を守る意識を持つことが重要です。



● こども家庭庁

「こどもを事故から守る!事故防止ハンドブック」

<https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety-actions/handbook>



● ONLINE こどもの救急 こどもの事故と対策

<https://kodomo-qq.jp/jiko/>



● SAFE KIDS WORLDWIDE JAPAN

<https://safekidsjapan.org/>